

寒い時期の体操服 あなたの学校はどうなっていますか？

(237号 1996. 2)

上着はダメなの？

私の勤務校では、一昨年(1995)の3月、職員会議で冬の体操服について話し合いがありました。本校では、体操服に夏・冬の区別はなく、男子は、白の半袖・短パン、女子は白の半袖、紺の短パンと決められていましたが、それ以上のことははっきりしていませんでした。普段は、標準服があり、体調の悪いときだけ、長ズボンを着用してもよいことになっています。

きっかけはこうでした。寒い日の体育の時間は、あるクラスは半袖、短パンの上に、標準服の上着を着て、あるクラスはどんなに寒くても半袖、短パンのままとばらばらの状態でした。ところが、クラブ活動の時間、担当の先生から上着を脱ぐように注意された児童が、教室に戻って担任に不満を漏らしました。授業で認められているものがダメだと言われたのですから、納得できないのも無理からぬことです。このことから、寒い日の体操服のあり方について、教師が共通理解を図る必要があるだろうと提案されたのでした。

先生方の意見

提案は体育部からで、原案は「寒い日は、長袖、長トレの体操服を着用してもよい。標準服の上着は着用させない。長袖・長トレの体操服は、特に指定せず、紺か黒っぽいものであればよい。」でした。理由は、寒い時に半袖、短パンはかえって体に良くない。標準服の上着は、伸縮性が乏しく体操の服としてふさわしくないということでした。

これに対しさまざまな意見が出ました。

- ・長トレ・長袖の体操服には賛成だが、特に指定しないことには反対。服装が自由では、どうしても派手になりがち。
- ・服装がバラバラでは、何となく指導がやりにくい。
- ・指定するなら、わざわざ買わなくてはならず保護者の負担になる。
- ・それなら、全員ではなく、いる人だけ用意することにすればよい。
- ・長袖・長トレの体操服には反対。これを認めたら、寒さに負けない体や心を鍛えるということがなくなってしまう。
- ・以前は指定の長袖・長トレの体操服があり、全員が着用していたが、いつのまにかほとんど着られなくなってしまった。
- ・児童の中には兄弟関係で持っている人もいるはずだ。

未だに残る鍛錬主義

この話し合いを聞いていて、服装一つにも、その人の体育観が表れるものだなと改めて思いました。

中でも「寒さに負けない体や心を鍛える」という考え方が、今も根強く残っていることを感じました。そういえば、以前、授業参観で体育をしたとき、「あの寒がりの我が子が、半袖・短パンで頑張っているのを見て感激しました。」という感想をもらったことがあります。ですから、これは教師だけでなく親の意識としても大きいものがあるといえるでしょう。この考え方は「汗、運動量、体力づくり＝体育」と結び付けていることは言うまでもありません。

体操服で教えること

現在の体育は、体を鍛えることを目的にしたものではなく、運動やスポーツが持つ楽しさや、技術を教えることを目的にしていることを体育部が話をして、つまるところ、本校の寒い時期の体操服は、指定のものとはなりませんが、「長袖・長トレを使用してもよい」となりました。(しかし、長袖はともかく、長トレのダサイこと。学校でしか着れないと子どもたちは嘆いています。)

本来運動する時に、その服装人から指図されるものではありません。むしろ自分できちんと選択できることが大事なのです。「やり始めは暖かい服装で、体が温まってきたら脱ぐなどして調整し、いつも体を冷やさないう運動の内容に合わせて、服装を調整しベストの状態する。」このこと体育の授業で教えずにはならないのです。ですから、半袖か長袖かではなく、長袖→半袖→長袖など、自分で調整するよう指導すべきなのです。

あなたの学校の寒い時期の体操服はどうなっていますか？「寒い？何言ってるの!!子どもは風の子でしょ。」と厚着した教師が諭しているってことはないでしょうか？